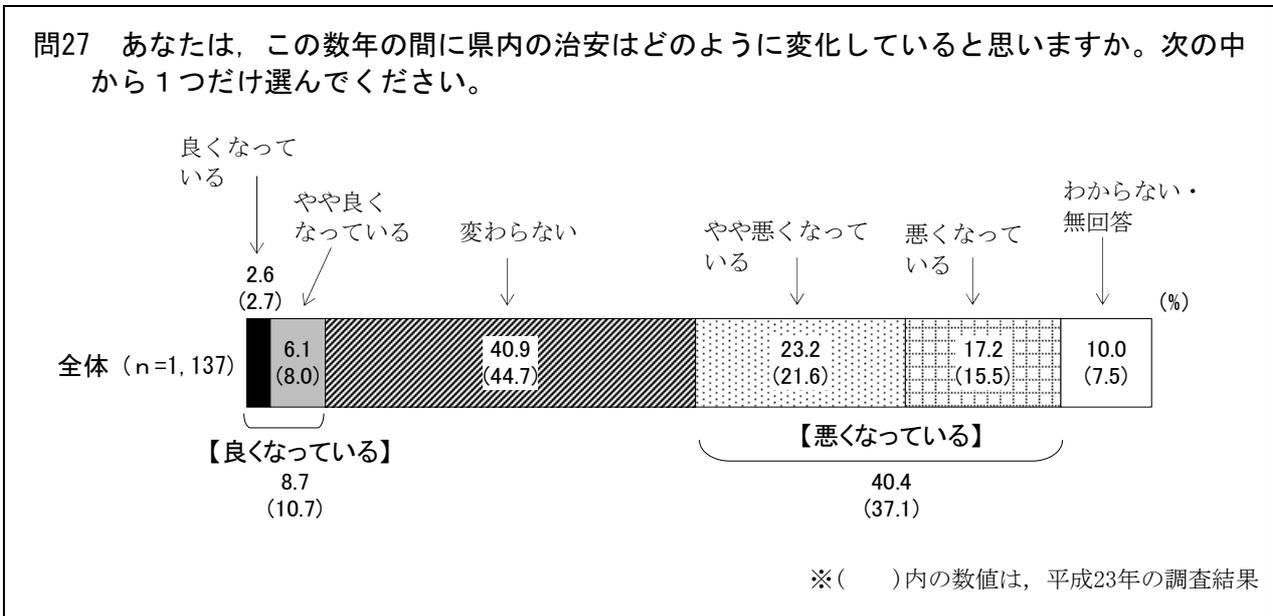


XIII 県民の治安に関する意識とその変化

1. 県内の治安状況

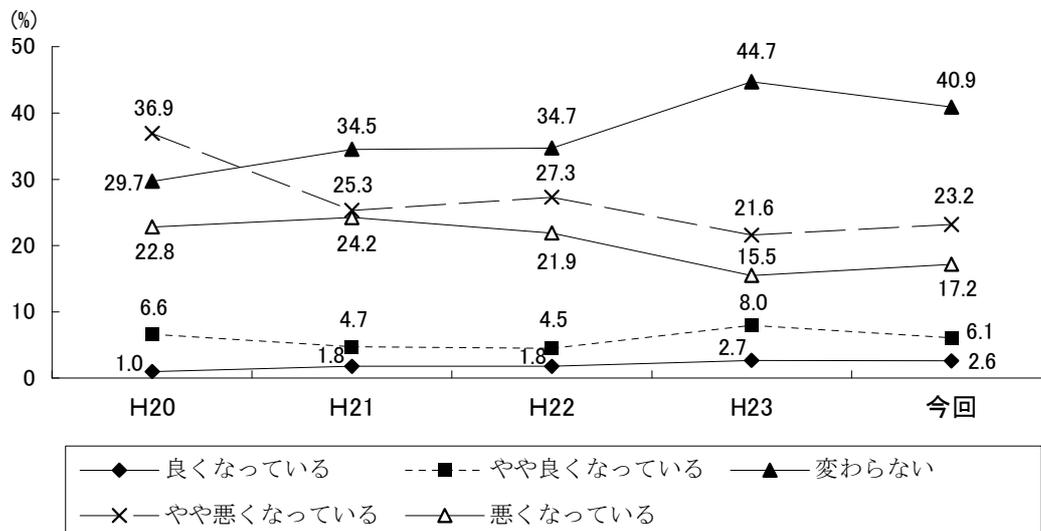
—【悪くなっている】が約4割—



県内の治安状況については、「良くなっている」(2.6%)と「やや良くなっている」(6.1%)を合わせた【良くなっている】(8.7%)が約1割となっている。一方、「やや悪くなっている」(23.2%)と「悪くなっている」(17.2%)を合わせた【悪くなっている】(40.4%)は約4割となっている。なお、「変わらない」(40.9%)も、約4割となっている。

前回調査と比べると、【悪くなっている】は約3ポイント増加している。

図XIII 27-1 県内の治安状況(時系列)



—【悪くなっている】は県央で約5割。男性の40代で6割を超えている—

地域別でみると、【悪くなっている】は、県央（47.2%）で約5割と最も高くなっている。一方、【良くなっている】は、鹿行（13.5%）で1割台半ばと高くなっている。

市郡別でみると、【悪くなっている】は、人口10万人以上の市（41.5%）と人口5万人以上の市（42.3%）で4割を超えて高くなっている。一方、【良くなっている】は、人口5万人未満の市（12.7%）と郡部（12.5%）で1割を超えている。

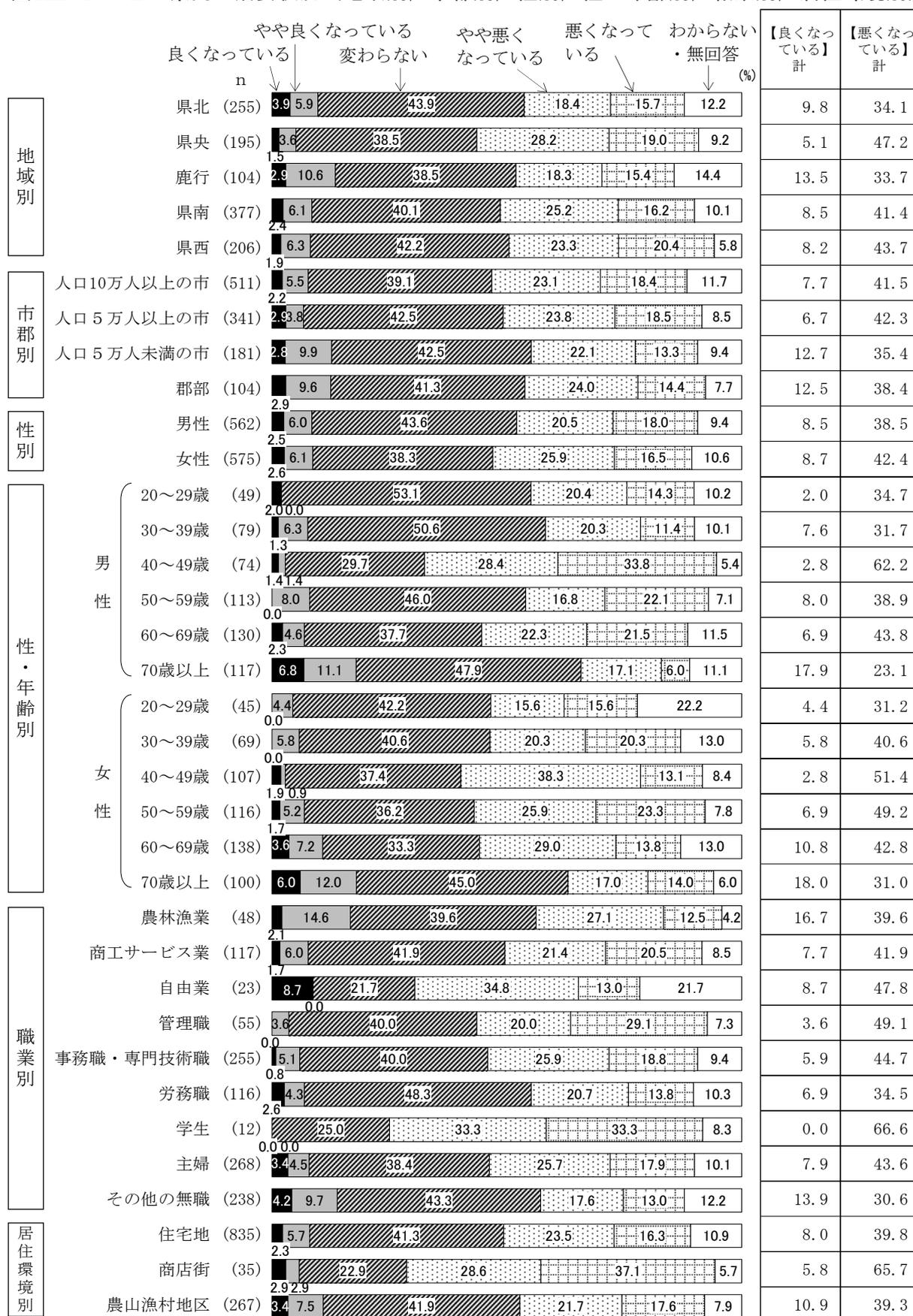
性別でみると、【悪くなっている】は、女性（42.4%）が男性（38.5%）よりも約4ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、【悪くなっている】は、男性の40代（62.2%）で6割を超えて最も高く、女性の40代（51.4%）と50代（49.2%）で5割前後となっている。一方、【良くなっている】は、男性の70歳以上（17.9%）と女性の70歳以上（18.0%）で約2割となっている。

職業別でみると、【悪くなっている】は、管理職（49.1%）で約5割と最も高くなっている。一方、【良くなっている】は、農林漁業（16.7%）で1割台半ばとなっている。

居住環境別でみると、【悪くなっている】は、商店街（65.7%）で6割台半ばと最も高くなっている。

図XIII 27-2 県内の治安状況（地域別，市郡別，性別，性・年齢別，職業別，居住環境別）



(注) 自由業及び学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。
また、工場地区は回答者なしのため省略している。

2. 犯罪や交通事故の不安

—不安を【感じる】が7割台半ば—

問28 あなたは、毎日の生活の中で犯罪や交通事故に遭う不安を感じますか。次の中から1つだけ選んでください。

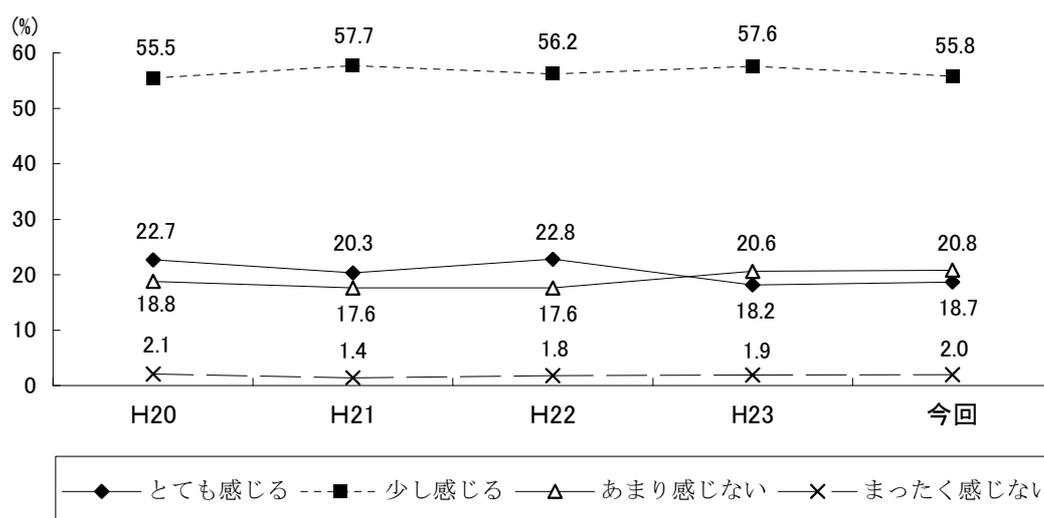


※()内の数値は、平成23年の調査結果

毎日の生活の中で犯罪や交通事故に遭う不安を、「とても感じる」(18.7%)と「少し感じる」(55.8%)を合わせた不安を【感じる】(74.5%)が、7割台半ばとなっている。一方、「あまり感じない」(20.8%)と「まったく感じない」(2.0%)を合わせた【感じない】(22.8%)は2割を超えている。

前回調査と比べると、特に大きな差はみられない。

図XIII 28-1 犯罪や交通事故の不安（時系列）



—不安を【感じる】は女性の20代で8割台半ば—

地域別でみると、不安を【感じる】は、鹿行（79.8%）で約8割と最も高くなっている。「とても感じる」でも鹿行（27.9%）は約3割と高くなっている。

市郡別でみると、不安を【感じる】は、郡部（68.2%）以外のすべての層で7割台半ばとなっている。

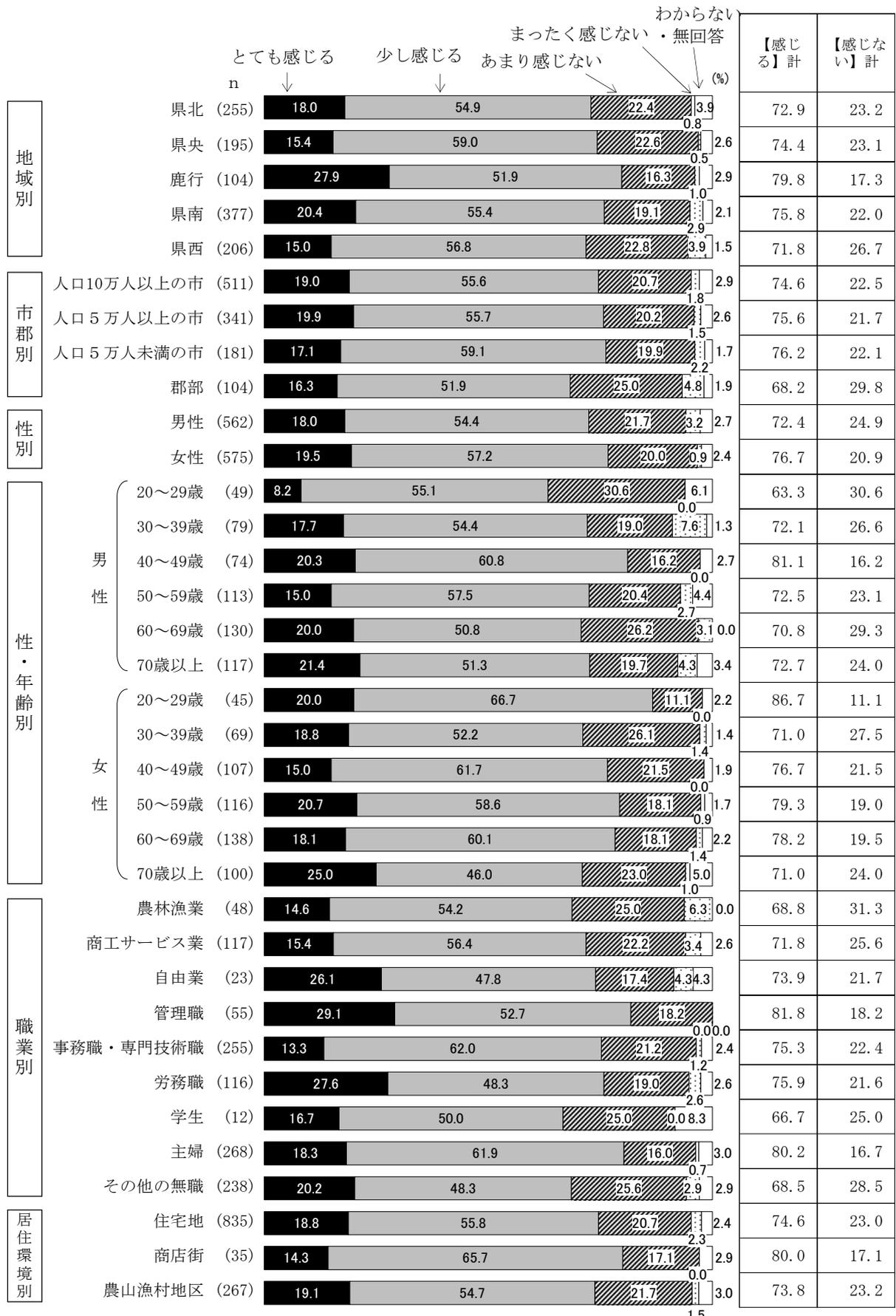
性別でみると、不安を【感じる】は、女性（76.7%）が男性（72.4%）よりも約4ポイント高くなっている。一方、【感じない】は、男性（24.9%）が女性（20.9%）よりも4ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、不安を【感じる】は、女性の20代（86.7%）で8割台半ばと最も高く、男性の40代（81.1%）で8割を超え、女性の40代（76.7%）、50代（79.3%）、60代（78.2%）で7割台後半となっている。

職業別でみると、不安を【感じる】は、管理職（81.8%）と主婦（80.2%）で8割台と高くなっている。

居住環境別でみると、不安を【感じる】は、商店街（80.0%）で8割と最も高くなっている。

図XIII 28-2 犯罪や交通事故の不安（地域別，市郡別，性別，性・年齢別，職業別，居住環境別）

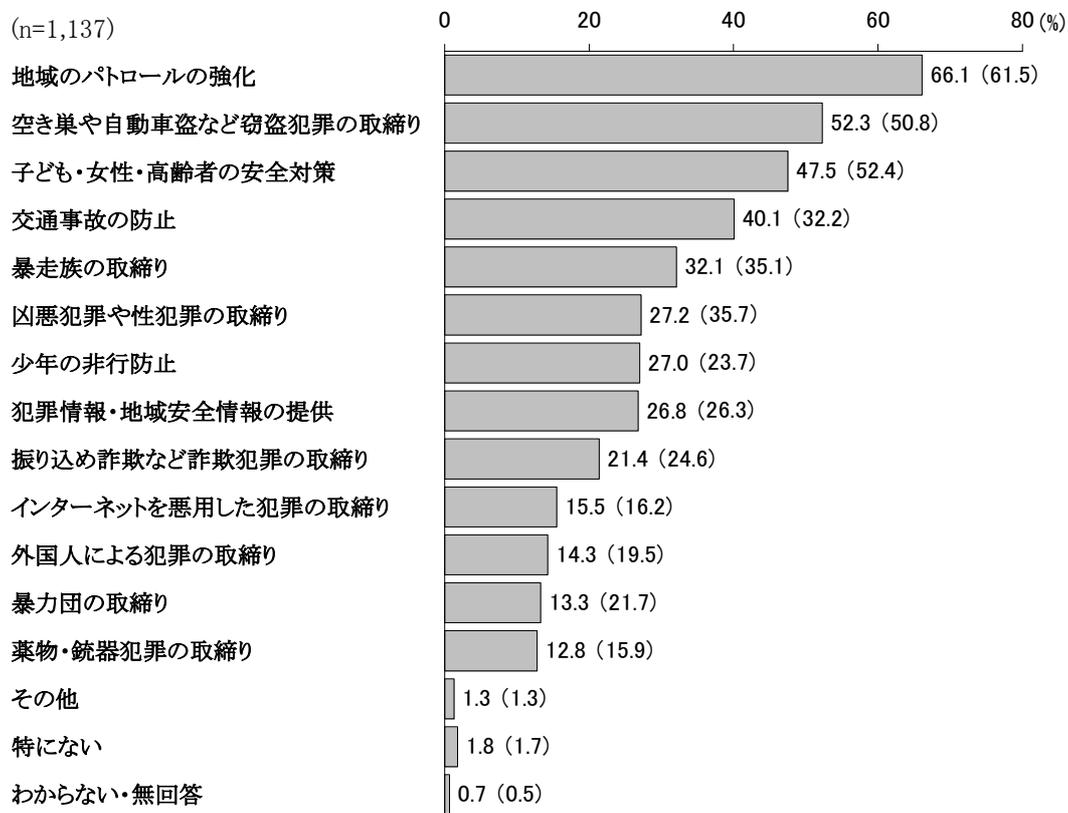


(注) 自由業及び学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。
また、工場地区は回答者なしのため省略している。

3. 県警察に力を入れて取り組んでほしいこと

—「地域のパトロールの強化」が6割台半ば—

問29 あなたは、県警察に特に力を入れて取り組んでほしいことがありますか。次の中から5つまで選んでください。



※()内の数値は、平成23年の調査結果

県警察に特に力を入れて取り組んでほしいこととしては、「地域のパトロールの強化」(66.1%)が6割台半ばで最も高く、次いで「空き巣や自動車盗など窃盗犯罪の取締り」(52.3%)が5割を超え、「子ども・女性・高齢者の安全対策」(47.5%)、「交通事故の防止」(40.1%)が4割台で続いている。

前回調査と比べると、「交通事故の防止」が約8ポイント、「地域のパトロールの強化」が約5ポイント、「少年の非行防止」が約3ポイント増加している。一方、「凶悪犯罪や性犯罪の取締り」が約9ポイント、「暴力団の取締り」が約8ポイント、「子ども・女性・高齢者の安全対策」と「外国人による犯罪の取締り」が約5ポイント、「振り込め詐欺など詐欺犯罪の取締り」と「薬物・銃器犯罪の取締り」が約3ポイント、「暴走族の取締り」が3ポイント減少している。

—「地域のパトロールの強化」が地域別，市郡別，性別，職業別で1位。女性の20代では「子ども・女性・高齢者の安全対策」が1位—

地域別でみると、「地域のパトロールの強化」がすべての地域で1位，「空き巣や自動車盗など窃盗犯罪の取締り」がすべての地域で2位となっている。また，「子ども・女性・高齢者の安全対策」は，県央以外のすべての地域で3位となっており，県央は「交通事故の防止」が3位となっている。

市郡別でみると，「地域のパトロールの強化」がすべての層で1位となっている。人口5万人未満の市以外のすべての層で「空き巣や自動車盗など窃盗犯罪の取締り」2位，「子ども・女性・高齢者の安全対策」が3位となっているが，人口5万人未満の市では順位が入れ替わっている。

表XIII 29-1 県警察に力を入れて取り組んでほしいこと（地域別，市郡別—上位5位）

（単位：％）

		n	1位	2位	3位	4位	5位
総数		1,137	地域のパトロールの強化 66.1	空き巣や自動車盗など窃盗犯罪の取締り 52.3	子ども・女性・高齢者の安全対策 47.5	交通事故の防止 40.1	暴走族の取締り 32.1
【地域別】	県北	255	地域のパトロールの強化 65.5	空き巣や自動車盗など窃盗犯罪の取締り 48.6	子ども・女性・高齢者の安全対策 47.5	交通事故の防止 42.0	暴走族の取締り 32.5
	県央	195	地域のパトロールの強化 67.2	空き巣や自動車盗など窃盗犯罪の取締り 53.8	交通事故の防止 46.7	子ども・女性・高齢者の安全対策 43.6	少年の非行防止 34.9
	鹿行	104	地域のパトロールの強化 56.7	空き巣や自動車盗など窃盗犯罪の取締り 51.0	子ども・女性・高齢者の安全対策 49.0	交通事故の防止 45.2	犯罪情報・地域安全情報の提供 28.8
	県南	377	地域のパトロールの強化 66.8	空き巣や自動車盗など窃盗犯罪の取締り 55.4	子ども・女性・高齢者の安全対策 50.9	交通事故の防止 37.4	暴走族の取締り 34.0
	県西	206	地域のパトロールの強化 68.9	空き巣や自動車盗など窃盗犯罪の取締り 50.5	子ども・女性・高齢者の安全対策 44.2	交通事故の防止 34.0	暴走族の取締り 33.5
【市郡別】	人口10万人以上の市	511	地域のパトロールの強化 68.3	空き巣や自動車盗など窃盗犯罪の取締り 55.6	子ども・女性・高齢者の安全対策 48.3	交通事故の防止 40.5	暴走族の取締り 34.6
	人口5万人以上の市	341	地域のパトロールの強化 66.3	空き巣や自動車盗など窃盗犯罪の取締り 49.6	子ども・女性・高齢者の安全対策 44.3	交通事故の防止 42.8	犯罪情報・地域安全情報の提供 32.0
	人口5万人未満の市	181	地域のパトロールの強化 60.8	子ども・女性・高齢者の安全対策 50.8	空き巣や自動車盗など窃盗犯罪の取締り 43.6	交通事故の防止 35.4	暴走族の取締り 31.5
	郡部	104	地域のパトロールの強化 63.5	空き巣や自動車盗など窃盗犯罪の取締り 60.6	子ども・女性・高齢者の安全対策 48.1	交通事故の防止 37.5	少年の非行防止 32.7

性別で見ると、男女ともに「地域のパトロールの強化」が1位、「空き巣や自動車盗など窃盗犯罪の取締り」が2位、「子ども・女性・高齢者の安全対策」が3位となっている。

なお、「子ども・女性・高齢者の安全対策」は、女性（51.5%）が男性（43.4%）よりも約8ポイント高く、「交通事故の防止」は、女性（43.5%）が男性（36.7%）よりも約7ポイント高くなっている。また、「地域のパトロールの強化」でも、女性（67.7%）が男性（64.4%）よりも約3ポイント高くなっている。一方、「暴走族の取締り」は、男性（33.6%）が女性（30.6%）よりも3ポイント高くなっている。

性・年齢別で見ると、「地域のパトロールの強化」か「空き巣や自動車盗など窃盗犯罪の取締り」は、男女ともに多くの年齢で1位か2位となっているが、女性の20代では「子ども・女性・高齢者の安全対策」が1位、男性の70歳以上、女性の30代と70歳以上では「子ども・女性・高齢者の安全対策」が2位となっている。また、「交通事故の防止」は、男性の20代で2位となっている。

表 XIII 29-2 県警察に力を入れて取り組んでほしいこと（性別、性・年齢別—上位5位）

（単位：％）

		n	1位	2位	3位	4位	5位
【性別】	男性	562	地域のパトロールの強化 64.4	空き巣や自動車盗など窃盗犯罪の取締り 51.8	子ども・女性・高齢者の安全対策 43.4	交通事故の防止 36.7	暴走族の取締り 33.6
	女性	575	地域のパトロールの強化 67.7	空き巣や自動車盗など窃盗犯罪の取締り 52.9	子ども・女性・高齢者の安全対策 51.5	交通事故の防止 43.5	暴走族の取締り 30.6
【性・年齢別】	男性	20～29歳	地域のパトロールの強化 51.0	交通事故の防止 40.8	空き巣や自動車盗など窃盗犯罪の取締り／暴走族の取締り 38.8	子ども・女性・高齢者の安全対策 36.7	
		30～39歳	地域のパトロールの強化 73.4	空き巣や自動車盗など窃盗犯罪の取締り 48.1	子ども・女性・高齢者の安全対策 40.5	暴走族の取締り 39.2	交通事故の防止 36.7
		40～49歳	地域のパトロールの強化 60.8	空き巣や自動車盗など窃盗犯罪の取締り 55.4	子ども・女性・高齢者の安全対策 40.5	交通事故の防止 39.2	犯罪情報・地域安全情報の提供 33.8
		50～59歳	地域のパトロールの強化 64.6	空き巣や自動車盗など窃盗犯罪の取締り 54.0	子ども・女性・高齢者の安全対策 39.8	暴走族の取締り 38.9	交通事故の防止 37.2
		60～69歳	地域のパトロールの強化 70.8	空き巣や自動車盗など窃盗犯罪の取締り 54.6	子ども・女性・高齢者の安全対策 43.8	交通事故の防止 34.6	凶悪犯罪や性犯罪の取締り 33.1
		70歳以上	地域のパトロールの強化 59.0	子ども・女性・高齢者の安全対策 53.0	空き巣や自動車盗など窃盗犯罪の取締り 52.1	交通事故の防止 35.0	暴走族の取締り 28.2
	女性	20～29歳	子ども・女性・高齢者の安全対策 62.2	地域のパトロールの強化 51.1	交通事故の防止 42.2	凶悪犯罪や性犯罪の取締り 40.0	犯罪情報・地域安全情報の提供／空き巣や自動車盗など窃盗犯罪の取締り／暴走族の取締り 35.6
		30～39歳	地域のパトロールの強化 71.0	子ども・女性・高齢者の安全対策 62.3	空き巣や自動車盗など窃盗犯罪の取締り 58.0	交通事故の防止 49.3	凶悪犯罪や性犯罪の取締り 39.1
		40～49歳	地域のパトロールの強化 65.4	空き巣や自動車盗など窃盗犯罪の取締り 51.4	子ども・女性・高齢者の安全対策 43.0	交通事故の防止 39.3	凶悪犯罪や性犯罪の取締り 31.8
		50～59歳	地域のパトロールの強化 74.1	空き巣や自動車盗など窃盗犯罪の取締り 57.8	子ども・女性・高齢者の安全対策／交通事故の防止 46.6	暴走族の取締り 35.3	
		60～69歳	地域のパトロールの強化 69.6	空き巣や自動車盗など窃盗犯罪の取締り 60.1	子ども・女性・高齢者の安全対策 52.9	交通事故の防止 44.2	犯罪情報・地域安全情報の提供 29.7
		70歳以上	地域のパトロールの強化 65.0	子ども・女性・高齢者の安全対策 52.0	空き巣や自動車盗など窃盗犯罪の取締り 43.0	交通事故の防止 40.0	振り込み詐欺など詐欺犯罪の取締り／暴走族の取締り 27.0

職業別でみると、「地域のパトロールの強化」がすべての職業で1位となっている。労務職とその他の無職以外のすべての職業で「空き巣や自動車盗など窃盗犯罪の取締り」が2位、「子ども・女性・高齢者の安全対策」が3位となっているが、労務職とその他の無職以外では順位が入れ替わっている。

表XIII 29-3 県警察に力を入れて取り組んでほしいこと（職業別—上位5位）

(単位：%)

		n	1位	2位	3位	4位	5位
【職業別】	農林漁業	48	地域のパトロールの強化 68.8	空き巣や自動車盗など窃盗犯罪の取締り 64.6	子ども・女性・高齢者の安全対策 50.0	振り込め詐欺など詐欺犯罪の取締り 31.3	交通事故の防止 29.2
	商工サービス業	117	地域のパトロールの強化 68.4	空き巣や自動車盗など窃盗犯罪の取締り 53.0	子ども・女性・高齢者の安全対策 45.3	暴走族の取締り 43.6	交通事故の防止 35.0
	自由業	23	空き巣や自動車盗など窃盗犯罪の取締り 56.5	地域のパトロールの強化 47.8	子ども・女性・高齢者の安全対策／外国人による犯罪の取締り／交通事故の防止		34.8
	管理職	55	地域のパトロールの強化 61.8	空き巣や自動車盗など窃盗犯罪の取締り 60.0	子ども・女性・高齢者の安全対策 47.3	少年の非行防止 43.6	暴走族の取締り 41.8
	事務職・専門技術職	255	地域のパトロールの強化 66.7	空き巣や自動車盗など窃盗犯罪の取締り 52.2	子ども・女性・高齢者の安全対策 45.1	交通事故の防止 42.7	暴走族の取締り 36.5
	労務職	116	地域のパトロールの強化 68.1	子ども・女性・高齢者の安全対策 45.7	空き巣や自動車盗など窃盗犯罪の取締り 43.1	交通事故の防止 40.5	暴走族の取締り 32.8
	学生	12	地域のパトロールの強化 66.7	空き巣や自動車盗など窃盗犯罪の取締り 58.3	暴走族の取締り 50.0	インターネットを悪用した犯罪の取締り／交通事故の防止	
	主婦	268	地域のパトロールの強化 68.7	空き巣や自動車盗など窃盗犯罪の取締り 56.7	子ども・女性・高齢者の安全対策 53.0	交通事故の防止 42.2	犯罪情報・地域安全情報の提供 30.6
	その他の無職	238	地域のパトロールの強化 63.0	子ども・女性・高齢者の安全対策 47.9	空き巣や自動車盗など窃盗犯罪の取締り 46.6	交通事故の防止 41.2	暴走族の取締り 29.0

(注) 自由業及び学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。